

本町の新型コロナウイルス感染症支援策は十分か

高校生まで一人当たり2万円など町独自の支援策を実施



児玉 孝徳 議員

国は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言解除後も、治療薬やワクチンが開発されるまで新型コロナウイルスの根絶は難しいとして、新しい生活様式を求めている。休業要請やイベントなどの自粛要請で影響を受けた事業所への支援策は十分か。

大崎町経営持続化給付金などがある

町長

本町の支援策は高校生まで、一人当たり2万円を給付、飲食店の支援策は500円クーポン券チラシ、大崎町経営持続化給付金として15%から50%未満収入が減少した第3次産業事業者に、一律30万円、商工会加入者

に一律5万円を給付、また企画調整課内に事業者向け相談窓口を設置し可能な限りの対策を行っている。



感染対策を徹底してお客さんを待つお店

第2波の支援策を検討せよ

児玉議員

本町の支援策は素晴らしいが、一時的なもので、第2波・第3波の対策を今のうちから検討すべきだと思うがどうか。

国の補正予算をみて考える

町長

国の補正予算及び本町の状況

を見きわめながら、対応できていないところを含め何らかの手だてを講じる。

本町出身の学生へ支援を

児玉議員

医療、介護従事者への支援はどうか。また、バイトなどがなくなり授業料や家賃が払えない本町出身の大学生などへ支援する考えはないか。

何らかの手立てを講じる

町長

介護事業所や医療機関などへマスクや消毒液を随時配布している。

学生の支援については、本町の状況を見きわめ、何らかの手だてを講じる。

プレミアム付き商品券の発行を

児玉議員

他の市町村では50%のプレミアム付商品券を発行している所があるが、本町でも発行する考えはないか。

ありがたい提案である

町長

プレミアム商品券については大変ありがたい提案と承る。

畜産農家へ支援金を

児玉議員

コロナで焼き肉店などの需要が減り、牛の価格が低迷し畜産農家も影響を受けているが、支援金などの助成は出来ないか。



影響が懸念される畜産農家

町単独の支援を講じる

町長

対応として国の持続化給付金の活用を周知している。町単独の支援策は、状況を踏まえ何らかの支援を講じる。肥育農家については、肉用牛肥育経営安定交付金に上乗せし支援する。

避難所での感染症対策は

児玉議員

避難所では密閉、密集、密接の3密が生じやすく、集団感染が発生しやすい環境であるが、コロナ対策は出来ているか。

分散避難や

問診・検温を行う

町長

安全を確認し、在宅避難や縁故避難、車中避難など分散避難をお願いしたい。従来の避難所だけでは不足するため、柔軟な対応を進め、マスク着用と手指消毒の徹底や、受付時に検温や問診を行い、感染の疑いのある方は、別途避難所を設ける。

中学生へ心のケアを

児玉議員

中学生の多くの大会が中止になり、部活に取り組む子どもたちは目標がなくなりつつある。勉強に影響していないか。また、心のケアなど精神面の対策は十分にできているか。

思い出深い

一年になるよう指導

教育長

大会など運営工夫し、可能な限り確保するよう対策をとる。校内行事でも思い出深い一年を過ごせるように指導している。

※他質問

・菱田中跡地に定住住宅を
・庁舎のバリアフリーについて